

科 目	英語コミュニケーションⅠ	学年・類型	1年・普通科	単位数	3
教科書	Revised BLUE MARBLE English Communication I (数研出版)				
副教材等	改訂版 BLUE MARBLE English Communication I ワークブック (数研出版)				
学習目標	英語の五領域（聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くこと）を総合、もしくは統合した言語活動を通じて日常的な話題・社会的な話題を学習することで、的確に情報や考えを理解したり適切に表現したりする力を養うことを目標とする。				
学習心得	1 聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五領域すべてにおいて、話し手の意図を把握し、他者に感想を伝えたり、理由や根拠を論理的に伝えたりする力を伸ばすことを目的としている。そのため、積極的に他者とコミュニケーションをとろうとする姿勢を心掛けること。 2 言語習得には日々の努力が不可欠である。予習・復習だけでなく、基礎となる語彙力・文法力の向上に努めること。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	オリエンテーション	・「英語コミュニケーションⅠ」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法、などについて説明する。			
	Lesson1 Visitors' Voices: Talking About Japan	・日本の魅力や外国人が旅行したい国についてのインタビュー記事を読み、その内容を整理して伝えることができる。 ・英語の5文型とThere is [are]の構文を理解し、活用することができる。			
	Lesson2 Fashion as a Mirror of the Times	・日本のファッション産業の歴史と未来についての英文を読み、その内容を整理して伝えることができる。 ・現在[過去]完了形・完了進行形を理解し、活用することができる。			
二 学 期	Lesson3 Learning to Accept Differences	・映画監督堤大介氏の経歴や多様性を訴える作品についての英文を読み、その内容を整理して伝えることができる。 ・used to do/could/助動詞を含む受動態を理解し、活用することができる。			
	Lesson4 Changing Behavior in Unique Ways	・人々の行動をよい方向に変えるための仕掛けについての英文を読み、その内容を整理して伝えることができる。 ・使役動詞を理解し、活用することができる。 ・ルワンダ大虐殺を生き延びた一人の女性の物語を読み、その内容を整理して伝えることができる。 ・知覚動詞、S+V+ifを理解し、活用することができる。			
	Lesson5 A Journey to Peace	・宇宙食の歴史と、これからの時代に求められる宇宙での食料生産に関する英文を読み、その内容を整理して伝えることができる。 ・関係代名詞の継続用法を理解し、活用することができる。			
三 学 期	Lesson6 What Can We Eat in Space?	・野生動物の秘密に迫る「バイオロギング」についての英文を読み、その内容を整理して伝えることができる。 ・関係副詞（when/where/why/how）を理解し、活用することができる。			
	Lesson7 Bio-logging: Discovering Animal's Secrets	・「オーバーツーリズム」とは何か、そしてその解決策についての英文を読み、その内容を整理して伝えることができる。 ・仮定法過去/仮定法過去完了を理解し、活用することができる。			
	Lesson8 What to do with Too Many Tourists	・玉石混交の膨大な情報から真実にたどり着くために何をすべきかについての英文を読み、その内容を整理して伝えることができる。 ・「禅」の精神とは何か、そして現代の世界に与えた影響は何かについての英文を読み、その内容を整理して伝えることができる。			
	Lesson9 Surviving in the Information Age				
	Lesson10 The Spirit of Zen: Less is More				

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり、伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている。	・定期考査 ・授業中の取組 ・ワークシートの課題 ・パフォーマンステスト
思考・判断・表現	必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えたりしている。情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている。	・定期考査 ・授業中の取組 ・ワークシートの課題 ・パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・定期考査 ・授業中の取組 ・ワークシートの課題 ・パフォーマンステスト